

## 2021 年度日本海洋学会第 6 回幹事会議事録

日時:2022 年 3 月 14 日(月)13:30~17:50

場所:Zoom を利用したオンライン開催

出席者:神田会長、伊藤副会長、岩本、梅澤、江淵、岡、乙坂、帰山、川合、高橋、土井、中野、野口、三角、吉田、事務局(毎日学術フォーラム:平坂)

### 議題

#### 1. 議事録(案)承認(三角幹事)

2021 年度第 5 回幹事会の議事録(案)が確認され、承認された。

#### 2. 審議事項

##### (1) 入退会について(岡幹事)

2021 年 12 月から 1 月の入会者(1 名)と退会者(13 名)が承認された。2022 年 1 月末時点の会員数は、1438 名。

##### (2) シンポジウムの後援・協賛等について(岡幹事)

後援・協賛等について 5 件の依頼があり、承認された。

##### (3) 募集・推薦等の依頼(岡幹事)

公募・推薦 3 件、シンポジウム・講演等について 1 件、転載許諾 2 件、その他 2 件の依頼があり、学会ホームページにて公開、メーリングリストにて配信等の対応がなされたことが報告された。

##### (4) 受賞記念講演の座長について(乙坂幹事)

受賞記念講演の座長について提案され、承認された。

##### (5) Web 投票について(中野幹事)

会長、副会長、監査、評議員の Web 選挙システムの構築を依頼する民間会社が提案され、承認された。

選挙前に実施する名簿更新依頼の方法や、メールで連絡がとれない会員の扱い、選挙公報の扱い等について協議した。

##### (6) 2022 年度若手研究集会助成について(伊藤副会長)

2022 年度の若手研究集会助成の募集案について提案され、承認された。

##### (7) 2022 年度若手海外渡航援助について(伊藤副会長)

2022 年度若手海外渡航援助の募集案について提案され、承認された。

##### (8) inclusion 海かふえの提案について(伊藤副会長)

男女共同参画のイベントとして、inclusion 海かふえを開催することについて提案があり、承認された。

(9) 2022 年度春季評議員会・総会の開催方法と日程について(乙坂幹事)

2022 年度春季評議員会・総会をオンライン開催とすることについて提案があり、承認された。

(10) 吉田賞新設に伴う会則・細則の改定について(神田会長)

吉田賞の最初の授与に向けたスケジュール、会則・細則の変更手続きについて協議した。

(11) 法人化について(神田幹事)

日本海洋学会の法人化に向けた定款案について協議した。

(12) マイページを利用した大会申込方法の検討およびオンラインポスター発表システムの検討について(土井幹事)

マイページを利用した大会申込み方法について提案があり、承認された。

オンラインポスター発表システムについて提案があり、複数の案を LOC に伝えることになった。

### 3. 報告事項

(1) 会長(神田会長)

海洋生物シンポジウムが 2022 年 3 月 19 日にオンラインで開催されることが報告された。

2022 年 3 月 26 日に開催される水産海洋学会のシンポジウム「漁業と水産業を持続させるために水産海洋研究が目指すべき途とは？」について共催の依頼があり、承諾したことが報告された。本シンポジウムで、日本海洋学会の男女共同参画に関する取り組みについて話題提供があることが報告された。

Journal of Oceanography について CTS(著作権譲渡同意書)を LTP(出版ライセンス契約)に移行することについて、契約書にサインをしたことが報告された。

吉田賞の新設について、進捗状況が報告された。

学生会員の会費の扱いについて、会員の方から改善の提案があったことが報告された。

防災学術連携体から、各学協会に防災に関するビデオ講座作成の募集の案内が届いていることが報告された。

日本学術会議でとりまとめている大型研究計画に関して、今年度の公募の詳細は未定であることが報告された。JpGU 2022 において、提案がある学協会のプレゼンテーションが行われ、事前審査が実施される予定であることが報告された。

日本海洋学会の計画「深海アルゴフロートの全球展開による気候・生態系変動予測の高精度化」は重点計画に採用済みであるため、JpGU 2022 でのプレゼンテーションは見送ることにし

たことが報告された。本計画の今後の対応については、日本学術会議の方針が決まり次第協議する予定であることが報告された。

日本気象学会からの大型研究計画の提案について、海洋学会からサポートレターを送付したことが報告された。

日本海洋学会の法人化について、近日中に定款案を専門家に見てもらおう予定であることが報告された。

## (2) 会計(野口幹事)

2022年度予算案について報告された。

## (3) 研究発表(土井幹事)

2022年度の春季大会が JpGU 2022 において開催されることが報告された。

海洋学会の共催セッション数は 25 件(前年度から+1)、共催セッションにおける投稿数 463 件(前年度から+34)であることが報告された。

2022年度秋季大会の準備状況について報告された。

## (4) 編集

### ① JO(江淵編集委員長)

JO(Vol. 76(1)から Vol. 78(2))の発行状況、投稿・受理状況について報告された。

特集セクションの発行状況、発行見通しについて報告された。

LTP への移行は 2022 年 4 月 1 日からであることが報告された。

### ② 海の研究(吉田編集委員長)

海の研究第 31 巻 1 号が 2022 年 2 月 15 日に発行されたことが報告された。第 31 巻 2 号が 2022 年 3 月 15 日に、第 31 巻 3 号は 2022 年 5 月 15 日に発行予定であることが報告された。

### ③ ニュースレター(岩本編集委員長)

JOS ニュースレター(第 11 巻 4 号)がまもなく届く予定であることが報告された。

JOS ニュースレターの発行部数を 1700 部から 1600 部に変更したことが報告された。

## (5) 海洋観測ガイドライン編集委員会(帰山幹事)

地学オリンピックでの PR のため、「海洋学を学べる大学一覧」を送付したことが報告された。

JpGU のブース出展について、現地及びオンラインのブースを申し込んだことが報告された。

## (6) 海洋環境委員会(梅澤幹事)

2022年2月に青い海助成事業について募集を行ったが、一般提案型は応募がなかったことが報告された。緊急提案型については現在募集中であることが報告された。

2020年度、2021年度の採択課題について、報告書の作成を依頼していることが報告された。

(7) 教育問題研究会(川合幹事)

2022年3月20日に海のサイエンスカフェがオンラインで開催されることが報告された。

JAMSTECの中嶋会員が『『プラなし』博士が語る、深海にひろがるプラスチック汚染』という題で話題提供することが報告された。

(8) 海洋生物学研究会(高橋幹事)

海洋生物シンポジウム2022について、2022年2月18日に発表申込みを締切り、21件の申込みがあったことが報告された。それをふまえ、2022年3月19日の1日でオンラインにてシンポジウムを開催することを決定し、準備を進めていることが報告された。基調講演の1つとして、高橋幹事から、将来構想に関して話題提供することが報告された。

(9) 研究に関する将来構想WG(高橋幹事)

2022年3月1日にWGで会合を開き、一般に向けて将来構想をどのように示していくか議論したことが報告された。今後、2〜3ヶ月かけ、Webで記事を配信していく方針であることが報告された。

(10) 男女共同参画(野口幹事)

2022年3月29日に第2回運営委員会が開催される予定であり、伊藤副会長と野口幹事が参加予定であることが報告された。

(11) 若手支援(伊藤副会長)

海洋若手会の過去の冊子についてPDF化した内容について、どのような形で公開するか協議していることが報告された。

(12) 80周年記念WG:記念行事について(乙坂幹事)

JOSニュースレターの80周年記念号の配布が完了したことが報告された。

(13) 「海洋環境の事典」について(伊藤副会長)

「海洋環境の事典」について、朝倉書店の内部審査が通り、日本海洋政策学会で編集委員会の立ち上げが認められたことが報告された。

朝倉書店、日本海洋政策学会、伊藤副会長で2022年3月17日に会合が開かれることが報告された。

(14) 学生会員の会費の扱いについて(伊藤副会長)

学生会員の会費の改善案について協議した。

以上